

中学校 3年

「論語」の言葉から心に残った言葉を選んで伝え合おう

東大阪市立義務教育学校池島学園

教科

国語

単元名

深まる学びへ 表現の豊かさを味わい、生き方を考える

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・歴史的背景に注目して「論語」を読み、長く受け継がれてきた名言に触れ、その世界に親しんだり、引用して使ったりすることができる。
- ・人間の生き方について孔子の考え方を自分たちと関連づけて、考えを広げたり深めたりすることができる。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・本やメディアを適切に選択し課題を解決しようとする。
- ・考えの根拠としてさまざまな資料、データから読み取った複数の情報を活用し、自分の意見を表現できる。

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用

F-STEP 4, G-STEP 4

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開 (全3時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (1時間)	・「漢文の訓読の復習」 ・「論語」の歴史的背景について確認する
第2次 (1時間)	・「論語」の章句を声に出して読む。 ・「論語」の章句の意味について確認する。
第3次 (1時間)	・「論語」(孔子や時代) のことについて、教科書や本(図書)を使ってまとめる。(本時) (☆) ・50冊程度の「論語」に関する本(図書)の中から自分で本を選び、心に残った「論語」の言葉を見つける。(☆) ・選んだ「論語」の言葉を引用して文章を書く。 ・班の中で交流し、さまざまな「論語」の言葉に触れたり、自分の考えを広げたりする。

本時のねらい

- ・「論語」の言葉を引用し、自分たちの体験や経験と結び付けて考えを深める。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (5分)	1. 調べる ・「論語」(孔子や時代) について、本(図書)を使いまとめる。	・論語に関する本(図書)を50冊程度用意をして、生徒が本(図書)を選べるようにする。 ・「論語」の言葉から、心に残った言葉を選び自己の経験や体験と重ね合わせて、考えを深められるようにする。
展開 (40分)	2. 多くの「論語」の言葉に触れ、自分と結び付けて書く ・クラスに50冊程度の本(図書)を用意し、生徒が本(図書)を選んで、「論語」の言葉を読み、教科書以外の「論語」の言葉に触れる。その中で、心に残った「論語」の言葉を見つけ、引用して文章を書く。 ・言葉を引用して書くときに、「生徒自身の体験や経験」と「論語の言葉の意味」を結び付けて書く。	・「論語」の言葉を引用することで、生徒が一層言葉に興味をもてるようにする。 ・「論語」に関する本を50冊程度用意し、生徒が複数の本を手に取り、多くの言葉に触れることができるようにする。
まとめ (5分)	3. 交流 ・書いた文章を班で交流し、相手の発表から感じたことや気づいたことを書き、相手に伝える。	・伝える力を身に付けられるように、話型の例を示す。 ・目的をもって相手の話を聞くことができるように、聞く視点を示す。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・教科書以外の「論語」の言葉に触れることができるように「論語」に関する本を50冊程度用意した。生徒は、多くの本から自分に必要な本を選択することができた。その結果、本に興味をもち多くの生徒がタブレットではなく本を中心に調べていた。
- ・『シャトルランで、もう無理だと諦めそうになったが、「今女(なんじ)は画れり」だと思って、去年よりも良い記録を残したいと思い、自分を鼓舞して走り切った。』と論語の言葉を自分たちの体験や経験と関連付けて書いていた。
- ・話を聞く姿勢や話しやすい雰囲気を作るように手立てをすることで、発表が終わると自然と拍手が起こっていた。



自分の経験や体験と結び付けて「論語」を読み、考えを整理しているところ